



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月7日

上場会社名 六甲バター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2266 URL http://www.qbb.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 宏和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役活性本部長 (氏名) 丸山 泰次 TEL (078)231-4681
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	26,651	1.8	721	△55.5	614	△61.5	345	△66.4
2019年12月期第2四半期	26,190	2.9	1,622	△22.8	1,599	△23.7	1,027	△28.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	17.73	—
2019年12月期第2四半期	52.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	54,517	27,082	49.7
2019年12月期	57,523	27,204	47.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 27,082百万円 2019年12月期 27,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年12月期	—	0.00			
2020年12月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	2.9	1,400	△37.3	1,270	△41.8	680	△30.6	34.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	21,452,125株	2019年12月期	21,452,125株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	1,968,138株	2019年12月期	1,968,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	19,483,993株	2019年12月期 2 Q	19,484,143株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言を発令し、人の移動や経済活動が制約されたことで、急速に悪化するなど厳しい状況となりました。さらに、政府の緊急経済対策や金融緩和政策の強化が実施されることが見込まれる一方で、企業業績の悪化に伴う雇用・所得環境の悪化が懸念されるなど先行きは不透明感が一段と高まる状況となりました。

食品業界ならびに当社の主力分野であるチーズ業界におきましては、不要不急の外出自粛による外食向け需要や休校による給食向け需要が大幅に減少する一方で、巣ごもり需要が増加したことにより簡便調理品などが伸びました。

このような市場環境のもと、当社といたしましては、新型コロナウイルス感染症に関して感染予防および感染拡大の防止対策を徹底する観点から、外出の自粛と在宅勤務および時差勤務など就業制限の取り組みを実施いたしました。さらに、食品メーカーとして最も重要な食の安全・安心の確保を最重点とし、品質管理体制の強化、基幹工場となる神戸工場の全面本稼働ならびに全生産ラインの安定稼働、新製品の開発、経費の削減に引き続き努めました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食向け需要や給食向け需要が大幅に減少したことで、業務用チーズ製品およびナッツ製品等の販売が減少した一方で、巣ごもり需要が増加したことにより家庭用チーズ製品の販売が好調に推移したことから、売上高は266億5千1百万円(前年同四半期比101.8%)となりました。一方、営業利益は、神戸工場稼働に伴う減価償却費が増加したことにより、7億2千1百万円(前年同四半期比44.5%)となり、経常利益は6億1千4百万円(前年同四半期比38.5%)、四半期純利益は3億4千5百万円(前年同四半期比33.6%)となりました。売上高の内訳はチーズ部門が253億5千4百万円(前年同四半期比102.1%)、チョコレート部門が9億1千4百万円(前年同四半期比105.6%)、ナッツ部門が3億3千7百万円(前年同四半期比79.1%)、その他部門が4千4百万円(前年同四半期比61.6%)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産は、現金及び預金が6億6千万円増加した一方で、売掛金が20億7千3百万円、未収消費税等が15億5千9百万円、有形固定資産が6億4百万円減少したこと等により、前事業年度末と比較し30億6百万円減少し、545億1千7百万円となりました。また、負債は、短期借入金が10億円、設備関係電子記録債務が7億5千9百万円、未払費用が5億7千1百万円減少したこと等により、前事業年度末と比較し28億8千4百万円減少し、274億3千4百万円となりました。純資産は、前事業年度末と比較し1億2千1百万円減少し、270億8千2百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは39億2千9百万円の収入となりました。主な要因は売上債権の減少および未収消費税等の減少による収入であります。(前年同四半期は4億7千2百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは18億7千1百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出であります。(前年同四半期は41億3千6百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは13億8千8百万円の支出となりました。主な要因は短期借入金の減少による支出であります。(前年同四半期は41億1千4百万円の収入)

以上の結果、当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較し6億6千4百万円増加し、60億3千8百万円となりました。(前事業年度末は53億7千4百万円)

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績が計画を上回る状況となりましたが、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大傾向であり先行きは不透明感が一段と高まる状況であることから2020年2月7日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,762,780	6,423,646
電子記録債権	222,983	227,856
受取手形	—	3,591
売掛金	12,712,818	10,639,239
商品及び製品	2,419,347	2,900,100
仕掛品	137,967	137,849
原材料	1,630,604	1,859,447
前払費用	55,985	103,566
未収入金	104,270	147,346
未収消費税等	1,559,945	—
短期貸付金	1,949	1,717
その他	54,929	38,609
貸倒引当金	△2,600	△1,300
流動資産合計	24,660,982	22,481,672
固定資産		
有形固定資産		
建物	17,638,463	17,634,606
減価償却累計額	△4,254,337	△4,693,077
建物(純額)	13,384,126	12,941,529
構築物	892,424	895,924
減価償却累計額	△399,490	△430,669
構築物(純額)	492,933	465,254
機械及び装置	21,064,134	21,304,793
減価償却累計額	△11,683,176	△12,585,702
機械及び装置(純額)	9,380,957	8,719,090
車両運搬具	109,882	106,257
減価償却累計額	△95,153	△94,282
車両運搬具(純額)	14,729	11,975
工具、器具及び備品	780,247	789,644
減価償却累計額	△593,236	△623,641
工具、器具及び備品(純額)	187,010	166,003
土地	3,710,268	3,710,268
建設仮勘定	687,794	1,239,127
有形固定資産合計	27,857,821	27,253,249
無形固定資産		
電話加入権	11,091	11,091
商標権	3,699	17,640
諸施設利用権	10,026	9,674
ソフトウェア	239,501	204,144
ソフトウェア仮勘定	—	8,478
無形固定資産合計	264,319	251,028

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349,613	1,248,952
関係会社株式	1,326,310	1,326,310
従業員に対する長期貸付金	2,595	1,743
長期前払費用	22,795	14,066
長期未収入金	400,000	400,000
破産更生債権等	7,647	7,647
前払年金費用	962,619	967,362
繰延税金資産	568,790	471,846
その他	122,749	114,595
貸倒引当金	△22,948	△21,242
投資その他の資産合計	4,740,173	4,531,283
固定資産合計	32,862,314	32,035,561
資産合計	57,523,297	54,517,234
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	84,416	62,887
買掛金	4,527,941	4,293,317
短期借入金	17,000,000	16,000,000
リース債務	1,451	1,451
未払金	1,231,661	963,457
未払法人税等	125,294	72,074
未払消費税等	—	51,540
未払費用	4,922,164	4,350,737
預り金	149,066	116,047
設備関係電子記録債務	843,938	84,148
株主優待引当金	6,400	—
役員賞与引当金	40,000	—
その他	1,862	9,009
流動負債合計	28,934,196	26,004,671
固定負債		
リース債務	1,824	1,098
退職給付引当金	1,111,347	1,157,184
長期未払金	257,577	257,577
その他	13,910	13,910
固定負債合計	1,384,659	1,429,770
負債合計	30,318,855	27,434,441

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金		
資本準備金	800,000	800,000
その他資本剰余金	1,722,860	1,722,860
資本剰余金合計	2,522,860	2,522,860
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	411,592	398,079
別途積立金	19,100,000	19,100,000
繰越利益剰余金	3,992,703	3,961,924
利益剰余金合計	23,504,295	23,460,003
自己株式	△2,316,068	△2,316,084
株主資本合計	26,554,290	26,509,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	650,522	572,808
繰延ヘッジ損益	△371	—
評価・換算差額等合計	650,150	572,808
純資産合計	27,204,441	27,082,792
負債純資産合計	57,523,297	54,517,234

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	26,190,142	26,651,262
売上原価	14,905,331	15,825,826
売上総利益	11,284,811	10,825,435
販売費及び一般管理費	9,662,263	10,103,439
営業利益	1,622,547	721,996
営業外収益		
受取利息	6,773	3,858
受取配当金	16,164	17,316
収入貸貸料	12,300	10,421
資材売却益	4,198	1,767
その他	5,110	10,440
営業外収益合計	44,547	43,804
営業外費用		
支払利息	11,132	19,254
為替差損	17,963	11,992
貸貸資産費用	1,668	1,668
遊休資産費用	—	76,736
関係会社支援費用	36,614	36,947
その他	532	4,235
営業外費用合計	67,912	150,835
経常利益	1,599,182	614,965
特別損失		
固定資産廃棄損	3,571	13,743
工場移転費用	101,100	86,356
減損損失	2,588	23,153
特別損失合計	107,260	123,252
税引前四半期純利益	1,491,921	491,712
法人税、住民税及び事業税	454,000	25,000
法人税等調整額	10,630	121,323
法人税等合計	464,630	146,323
四半期純利益	1,027,291	345,388

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,491,921	491,712
減価償却費	859,187	1,556,917
減損損失	2,588	23,153
固定資産廃棄損	3,571	13,743
工場移転費用	101,100	86,356
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△66,000	△40,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△37,738	45,836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△3,006
支払利息	11,132	19,254
受取利息及び受取配当金	△22,938	△21,174
為替差損益(△は益)	32,424	11,972
売上債権の増減額(△は増加)	1,651,900	2,065,113
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,067,683	△709,478
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65,042	△74,336
前払年金費用の増減額(△は増加)	△28,113	△4,742
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△21,466	16,882
仕入債務の増減額(△は減少)	162,414	△256,152
未払費用の増減額(△は減少)	△248,414	△503,941
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86,937	51,540
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,582,303	1,559,945
その他	△3,645	△27,352
小計	1,070,956	4,302,242
利息及び配当金の受取額	22,938	21,174
利息の支払額	△10,839	△18,891
工場移転費用の支払額	—	△290,970
法人税等の支払額	△610,449	△84,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,605	3,929,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△378,660	△384,953
定期預金の払戻による収入	374,303	381,953
有形固定資産の取得による支出	△3,847,569	△1,844,136
無形固定資産の取得による支出	△18,037	△23,478
投資有価証券の取得による支出	△1,591	△1,596
関係会社株式の取得による支出	△264,273	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	69	231
その他	△558	914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,136,316	△1,871,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△178	△16
短期借入金の増減額(△は減少)	4,600,000	△1,000,000
配当金の支払額	△484,763	△387,616
その他	△725	△725
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,114,332	△1,388,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,963	△5,460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	432,657	664,378
現金及び現金同等物の期首残高	4,479,299	5,374,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,911,956	6,038,692

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、神戸工場への設備の移転に伴い、第1四半期会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更は、稲美工場の建物、構築物等について、将来の使用計画等を総合的に勘案した耐用年数に変更するものであります。

この結果、当第2四半期累計期間の減価償却費は1億6百万円増加し、営業利益は4千3百万円減少し、経常利益及び税引前四半期純利益は1億6百万円減少しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、2020年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。この場合においては、当事業年度の財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であると考えております。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。